

令和2年度
名古屋産業大学大学院
履修証明プログラム

募集要項

SDGs マネジメントリテラシー 養成プログラム

文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」認定



名古屋産業大学大学院



Brush up Program
for professional



大学院発

中小企業
活性化

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

1. プログラムの名称

SDGs マネジメントリテラシー養成プログラム

2. 目的・概要

本課程は中小企業における、SDGs を実現するためのマネジメントリテラシーの養成を目的としています。

SDGs を達成するには、これまでの延長線上での改善ではなく、社会経済システムから人々の価値観まで、長期的視点をもって抜本的に大変革する「トランスフォーメーション」が必要とされている。この「トランスフォーメーション」実現には、企業の役割が大きい。なぜならば、企業は本業である商品やサービスの提供を通じた社会の変革、社会的課題へのビジネスソリューション提供による社会の変革、を実現することが可能であるからである。

そこで、SDGs を達成する「トランスフォーメーション」を企業が発生させるためには、

- 1) SDGs の正しい理解
- 2) インパクト・エリア特定と優先順位づけ
- 3) SDGs と関連付けた目標の設定
- 4) 事業への統合とパートナーシップ構築
- 5) 報告とコミュニケーション、のステップで取り組むことが推奨されている
(SDG コンパス※)。

本プログラムでは、これら 5 つのステップを実践的な方法による授業によって学び、SDGs の達成するために企業競争力の強化と環境問題の解決を共に実現するマネジメントリテラシーを得ることを目指す。

※SDG コンパスは、GRI (Global Reporting Initiative)、UNGC (The United Nations Global Compact)、WBCSD (World Business Council for Sustainable Development) によって、作成された企業行動指針。

3. 募集定員

5名

4. 履修資格

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者

5. 対象とする職業

会社の管理職に従事する者、専門的・技術的職業に従事する者、一般事務に従事する者、持続可能な開発目標 (SDGs) 達成を目指す者

6. 身に付けることのできる能力

- (身に付けられる知識、技術、技能)
- ・ SDGs に関する知識、新しい学びの技能

(得られる能力)

・SDGs と経営を結びつける能力、・能動的学びの場の設計・運営技能

7. 開講科目及び担当者

3科目すべて必修科目

- ①「環境経営特論」 15回 矢野昌彦（名古屋産業大学教授 ※実務家教員）
- ②「地域環境特論」 15回 石橋健一（愛知学院大学教授）
- ③「国際環境協力特論」 15回 大西 学（名古屋外国語大学准教授）

※各科目 1 授業 90 分×15 回 計 67.5 時間（全 45 回）

※講義内容は「プログラム開講科目の概要」、詳細日程は「開講スケジュール」を確認ください。

8. 修了要件

60 時間以上の履修および、SDGs マネジメントリテラシー養成プログラム対象 3 科目合格すること。修了認定者へ「履修証明書」を交付する。

また、履修者が本学大学院環境マネジメント研究科博士前期課程に入学を希望する場合、合格した科目について、名古屋産業大学大学院学則第 30 条の規定により入学前の既修得単位として認定する。

9. 申込書類

- ①履修証明プログラム入学志願書（本学所定用紙）
- ②最終出身学校の卒業証明書
- ③健康診断証明書もしくは定期健康診断結果の確認ができる書類

※日本国内に在留する外国人の方は、①～③に加えて在留カードまたは住民票の写しをご提出ください

10. 申込期限

令和 2 年 8 月 31 日（月）（必着）

送付先：名古屋産業大学大学院

〒488-8711 愛知県尾張旭市新居町山の田 3255-5

※簡易書留等配達記録の確認ができる方法でお送りください。

11. 受講期間

令和 2 年 9 月 16 日～令和 3 年 3 月 15 日の 6 か月間とする。

12. 受講場所

名古屋産業大学大学院 大曾根サテライトキャンパス

（JR 中央線・名鉄瀬戸線・地下鉄名城線 大曾根駅 徒歩 3 分）

〒488-8711 愛知県名古屋市北区平安 2-15-43

TEL：052-915-0880

1 3. 費用

検定料：10,000 円

入学料：10,000 円

受講料：1 単位につき 10,000 円

※本プログラムでは 3 科目 6 単位受講のため 10,000 円×6 単位 = 60,000 円

1 4. 選考方法及び受講許可

原則、書類審査により選考します。但し、必要に応じて面接を実施することがあります。

※選考結果発表

令和 2 年 9 月 16 日（水）に「履修の可否」および「手続き要項」を発送します。

1 5. 個人情報の取り扱いについて

本課程では、「名古屋産業大学・名古屋経営短期大学個人情報保護に関する規程」に準じて個人情報を取り扱いますのであらかじめご了承ください。

出願に際して本学が得た申請者の個人情報については、選考および入学手続を行うために使用します。利用目的を超えて個人情報を取り扱うことはいたしません。

1 6. 問い合わせ先

名古屋産業大学 教務課 担当：林

TEL：0561-55-3076（平日 9：00～17：00）

E-mail：kyoumu@nagoya-su.ac.jp

開講スケジュール・受講場所地図

国際環境協力特論	毎週	月曜	18：30～20：00
環境経営特論	毎週	水曜	18：30～20：00
地域環境特論	毎週	木曜	18：30～20：00

大曽根サテライトキャンパス



- 栄町から 6 分
栄町駅から大曽根駅まで名鉄瀬戸線で 6 分
- 名古屋駅から 12 分
名古屋駅から大曽根駅まで JR 中央線で 12 分
- 本山駅から 15 分
本山駅から大曽根駅まで地下鉄名城線で 15 分

プログラム開講科目の概要

【環境経営特論】

授業の概要

環境経営特論は、SDGs 実現に向けた環境・社会課題を経営学の視点で議論する。すなわち、環境・社会課題を解決するため産学官金連携、企業間連携やオープンイノベーションなど様々な取り組みを通じて、環境・社会を改善し、社会の幸福に貢献しようとするものであり、利害関係者と協調し、共存しようとする経営のあるべき姿を考える。利害関係者など様々な側面から連携し、ビジネスとしての持続性や社会貢献度などの観点を丁寧に探求していく。

授業の目標

次の3つの視点を理解することを目標とする。

1. SDGs とビジネス
2. ESG 経営
3. オープンイノベーション

到達目標

講義終了後には、SDGs を踏まえた環境・社会課題を解決すべき、ビジネスモデル構築や、具体的な事業プランを構想できることを到達目標とする

【地域環境特論】

授業の概要

地域環境研究といっても、自然環境の計測から環境保護制度に関する調査など、多様な切り口がある。本講義では、オープン・データとGIS(Geographical Information System: 地理情報システム)を用いて、地域の社会経済環境についてその計測方法及び、データ管理手法、データ解析手法について論じるとともに、SDGs で示されているゴールについて分析実習を行い、地域環境分析手法を実践的に習得することを目的とする。

授業の目標

- 1) 社会経済に関するオープン・データの理解と利用方法について理解すること
 - 2) 時空間データ管理方法について理解すること
 - 3) 目的に適した統計分析方法について理解すること
- を目標とする。

到達目標

インターネット上に公開されているオープン・データ(統計データおよび地図情報)を用い、SDGs のゴールについての分析を行うことができることを到達目標とする

【国際環境協力特論】

授業の概要

2015年に国連でSDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)が採択され、2030年の達成期限に向けて動き出している。SDGsは17目標、169ターゲットからなり、発展途上国・先進国といった全ての国が取り組む包括的な開発目標である。

本授業では、このSDGsを中心に、持続可能な開発、公共財、協力ゲームといった視点を踏まえて、具体的な事例を通して国際環境協力に関する専門知識を習得する。

授業の目標

持続可能な開発を支える公共財の特性(非排除性、非競合性)および、公共財の整備を協力ゲームの観点から理解することを目標とする。加えて、国際環境協力の具体的な事例の分析を行い、持続可能な開発は、持続可能性と経済・環境・社会の鼎立であることを理解することを目標とする。

到達目標

国際環境協力における問題群を理解し、これらの解決案の検討を通じてSDGsへの貢献を述べることができること。